

「少しでも」を意識した クマたちへのエンリッチメント



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

犬用フード
 はちみつ
 タイヤ交換

どうもごし
 ジャム
 ホース投入
 (20cm)

制汗スプレー
 おろしリンゴ
 ノーサン
 浮球





のぼりべつクマ牧場のエンリッチメントの方向性

のぼりべつクマ牧場は1958年に開園、今年で62周年という長い歴史をもちます。牧場内はコンクリートの壁で囲まれ、一部に鉄製の格子を利用した飼育場となっています。



野生での生息環境とは大きく異なる飼育環境であるため、より健康的な飼育を実現するために、精神面も考慮した取り組みが必要でした。

大きな壁は、どこの施設でも聞こえてくる、「**時間がない**」。

そこでのぼりべつクマ牧場では、**エンリッチメントの継続性**と**効率化**による
「少しでも」の積み重ねを最重要視しました。

限られた飼育環境の中で、『動物の行動の選択肢を今よりも1つ増やす』ことを意識した取り組みを行っています。



日々の業務に「数秒で」組み込めるエンリッチメント

通常業務の中で、「数秒の違い」により実施可能なエンリッチメントを組み込んでいます。
1つ1つの取り組みは数秒で出来るものを取り入れ、継続性の高さを意識しています。

同じ『餌を撒く』なら、
より広く・食べづらく・刺激的に撒く



頭数分のみの給餌箇所



多様な配餌

同じ『観察時間』なら、
エンリッチメントしながら歩く



トウモロコシ→探餌誘発



制汗スプレー→背こすり誘発

同じ『近くを通る』なら、
エンリッチメント器具を設置しなおす



通るたびに消防ホースを引きあげる

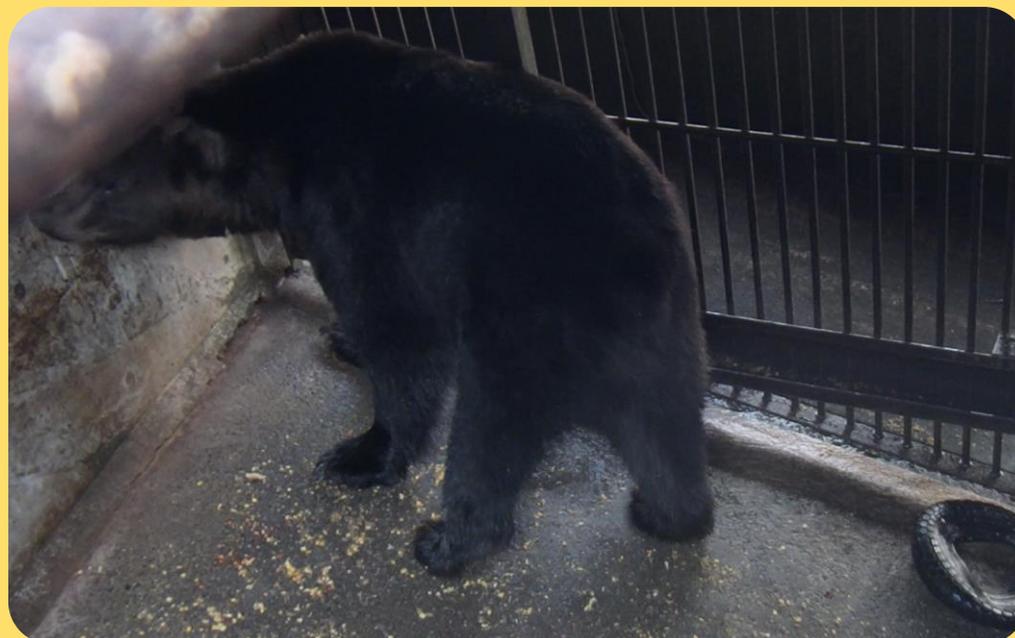


何度も引っ張り込む動きができる

制汗スプレーで嗅覚刺激

ヒグマは日頃から嗅覚を利用した生活を送っており、**嗅覚刺激が重要な意味をもつ動物**であることは、当園での研究結果からも判明しています。

種類の豊富さ、コスト、携帯性の面でも大きなメリットがある市販の制汗スプレーの匂いを、獣舎内につけています。



制汗スプレーの匂いに対して、ヒグマは匂いを嗅いだ後、格子に体をこすりつけるといった**「背こすり行動」**などの**活発な行動を示して反応**を見せてくれています。



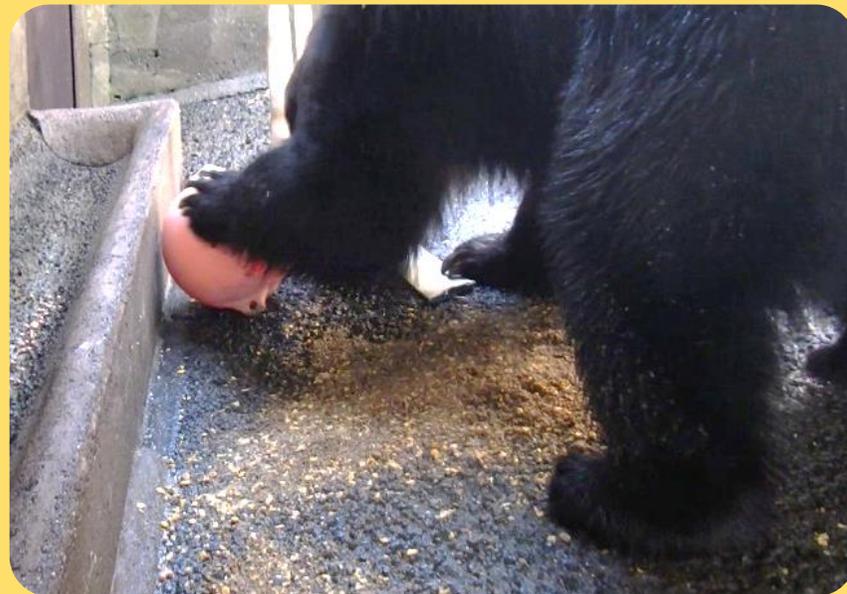
全獣舎に廃材を使ったエンリッチメント

最も長い時間を過ごす獣舎でのエンリッチメントが最重要と考え、廃棄されたタイヤ、消防ホース、浮き球などの廃材を使って、単純な構造であった獣舎に選択肢を与えられるよう工夫しています。

廃材を利用することで、すべての獣舎にエンリッチメント器具を設置することが可能になりました。噛む、引っ張る、床に敷く、探る、壊すなど、今までに獣舎では発現できなかった行動の選択肢が与えられるようになっています。



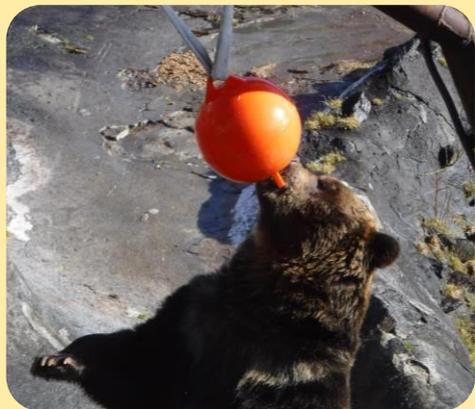
乗る、引っ張るだけでなく、廃材に餌を隠して探餌行動なども可能になる



浮き球を転がす、揺らすなどをして餌を獲得する行動が可能になる

効率化によって継続的に実現できる放飼場内のエンリッチメント

浮き球にエサを入れて吊るすエンリッチメント器具には、**効率化のための工夫**をこらし、**放飼場内に入らずとも一人でエサの補充を行える仕組み**を作っています。



以前はエサの補充の際、その都度**二人体制で放飼場内に入って補充**する必要があり、多くの手間と時間がかかっていました。

改良



浮き球の形は同様のまま、ぶら下がる浮き球の下部に、更に消防ホースを取り付けました。

エサの補充の際には、観覧スペースからフックのついた長い棒を用いて輪に引っ搔け、引っ張り上げることで、浮き球を手元へ持ってくることができ、**飼育員一人で放飼場内に入らず補充**できます。





エンリッチメントカレンダーによる計画的な取り組み

エンリッチメントは気が向いたとき、時間が出来たときだけに行うのではなく、継続的に行うことが重要と考えています。動物たちにとって「今日は何があるのかな？」と毎日ワクワクしてもらえる仕組みにするため、**エンリッチメントのカレンダーを作成**し、これに沿ってエンリッチメントを実施しています。



あらかじめ実施するエンリッチメントが決まっていることで、**必要な物品の準備・管理がしやすくなる**他、飼育員が「今日は何をしようかな」と悩む時間を削減しつつ、**確実に実施できる**というメリットもあります。

実施した際の動物の反応を見ながら、反応が大きかったエンリッチメントの頻度を増やしたり、予算や作業スケジュールに応じて調整を行っています。

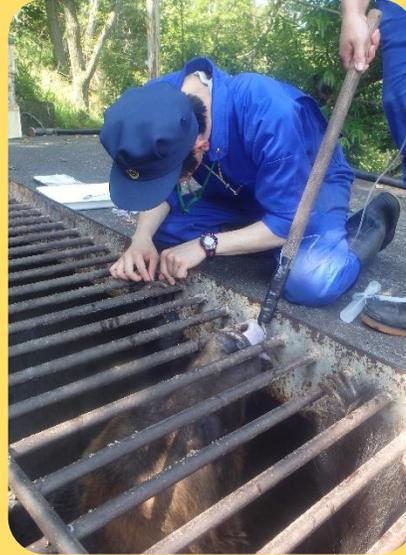


ハチミツを用いた麻酔なしの採血

病気の早期発見など健康管理上、血液検査は大変有効な手段となります。従来であればその都度麻酔を必要としていましたが、**麻酔を使わず、クマの好物(ハチミツ)**を用いて、**与えている間に採血を行う取り組み**を行っています。



従来のトレーニングによる採血を全頭に行うことは極めて困難であったため、**ハチミツを舐める際の自然な姿勢に着目した採血**に取り組んでいます。安全に長い時間継続してハチミツを与えられるよう注射器に入ったハチミツが、チューブを通して棒の先についたスプーンから出るようになっていました。



全獣舎に格子はあるので、ハチミツを継続的に出せるスプーン棒があれば、**場所を選ばず取り組みが可能**になります。



採血部位は前肢の血管ならどこでも可能です。ただし、確実に成功するとは限りません。



クマ牧場のエンリッチメントの外部発信

エンリッチメントを「イベント」として組み込むことで、日常業務の中で**継続的に実施することができ**、お客様も楽しみながらエンリッチメントを学ぶことができます。

毎日実施のイベント 『クマのアスレチック』



各種エンリッチメントを披露



トレーニングによるものではなく、
選択肢のある自発的なブランコ乗り

お客様参加型の エンリッチメント器具作成イベント



ご予約のお客様と一緒に作成



作成器具を与えて解説

公式ウェブサイトでの エンリッチメント事例紹介





より良いエンリッチメントのための情報収集

飼育管理やエンリッチメントをより**幅広く・奥深く・効率的に発展**させていくため、国内外とのグローバルな情報交換を行っています。

Wild Welfare、Yorkshire Wildlife Parkとパートナーシップを結んだり、国際環境エンリッチメント会議に参加し、**海外のトレーニング手法や、エンリッチメントの取り組みを細かく情報収集**しています。

Wild Welfare、Yorkshire Wildlife Parkとのパートナーシップ



レクチャー形式の情報共有



イギリスの動物園での
ヒグマのトレーニング動画共有



ワークショップで一緒に
エンリッチメント器具を製作・設置